

令和7年度
部の経営方針

岡 崎 市

< 目次 >

「部の経営方針」策定について.....	1
総合政策部	2
財務部	3
総務部	4
市民安全部	5
市民安全部（防災担当）	5
社会文化部	7
福祉部	9
保健部	10
保健部（保健所）	11
こども部.....	12
環境部	13
経済振興部	14
経済振興部（技術担当）	14
土木建設部	16
都市政策部	17
都市基盤部	18
市民病院.....	19
会計管理者	20
消防本部.....	21
上下水道局	23
議会事務局	24
教育委員会事務局	25
教育委員会事務局（教育監）	26
監査委員事務局.....	28
農業委員会事務局	29

「部の経営方針」策定について

市政運営の更なる透明性の向上と市民の皆様との情報共有を図るため、令和7年度の各部の取組の方向性や重点的に取り組む事務事業における目標等をまとめた「部の経営方針」を策定しました。

各部の主要な事務事業の目標達成基準を明らかにすることにより、部長等の主体的なマネジメントを推進し、その目標の達成に向けた積極的な取組を進めていきます。

「部の経営方針」の記載内容は以下のとおりです。

■部長等からのあいさつ

■担当する主な総合政策指針分野別指針

第7次岡崎市総合計画における総合政策指針の(1)から(10)の分野別指針のうち、どの分野を主に担当しているのかを示しています。

■所管する主な個別計画

第7次岡崎市総合計画に掲載されている(1)から(10)の分野別指針に紐づく個別計画のうち、どの計画を主に担当しているのかを示しています。なお、所管する主な個別計画が掲載されていない部においては、地方自治法等の法令及び条例等に基づいて事務事業を行っています。

■構成（令和7年4月1日現在）

部内に構成される課・室等が記載されています。

■今年度組織重点目標

組織課題を解決するために、今年度実行する具体策を明確化し、緊急性の高いものや特に重要なもの、効果の高いものを絞り込み（重点化）した「目標項目」及びその「目標達成基準」が記述されています。

総合政策部



部長 岡田 晃典

総合政策部では、「総合計画」「まち・ひと・しごと創生総合戦略」など総合的な計画の策定や進捗管理をはじめ、秘書・渉外、広報・広聴及び危機管理などトップマネジメントのサポート、並びに本市のDX推進を始めとする組織横断的な政策を所管しています。

今年度は、第7次総合計画の10年間の計画期間の5年目に当たります。本市が掲げる将来都市像「一歩先の暮らしで三河を拓く中枢・中核都市おかざき」の実現に向けた進捗状況を確認し、変化する環境や市民のニーズに柔軟に対応し、計画の適応性や持続可能性を高めることを目的に中間見直しを実施します。

また、情報発信、問い合わせ、手続きなどのデジタル化により市民利便性の向上と職員の業務効率化を併せて実現する「市民デジタルプラットフォーム構想」推進の第一弾として、入口となる岡崎市ホームページを「みやすい！わかりやすい！探しやすい！必要な時に、速やかに、正しい情報が得られるホームページ」へ全面リニューアルします。まちづくりは、行政だけで成し得るものではありません。総合政策部では、本市の未来につながる夢を多様な方々との共有・共感により実現できるよう、市民の皆様や民間事業者など多様な主体の皆様と、職員が一丸となる「チーム岡崎」によって、まちづくりを進めたいと考えます。

■ 担当する主な総合政策指針分野別指針

- | |
|-----------------------|
| (1) 暮らしを支える都市づくり |
| (10) スマートでスリムな行政運営の確立 |

■ 所管する主な個別計画

地域公共交通計画 シティプロモーション戦略 DXビジョン

■ 構成

企画課 デジタル推進課 秘書課 広報課 地域創生課

■ 今年度組織重点目標

目標項目	目標達成基準
ホテル等の誘致推進	サウンディングにより民間事業者の概況を把握すると共に、整備に向けた公募要件について検討されている。
行政ヘルプポータル構築	行政ヘルプポータルの運用が開始されている。
適正な市長・副市長のトップマネジメントを支援する。	市長・副市長が、各種行事や会議において、本市の代表としての儀礼的役割を果たし、また、市政進展につながる情報交換等を実施し、各施策が実現されている。
市公式ホームページの全面リニューアル	閲覧者にとって、「みやすい！わかりやすい！探しやすい！必要な時に、速やかに、正しい情報が得られる」ホームページの公開が完了している。
阿知和地区工業団地造成事業の着実な実施	工程計画どおりの事業進捗がなされている。

財務部



部長 齊藤 哲也

財務部が所管する事務は、予算編成を始めとする財政運営、行財政改革の推進、公有財産のマネジメントなどの財産管理及び市税の賦課・徴収などが主なもので、市税を含む予算と財産を一元的に管理しております。

本市の各施策を着実に実施するため、健全な財政運営に努めるとともに、行財政改革推進計画に基づいて、将来にわたり持続可能な行政サービスの提供に取り組み、公共施設等総合管理計画などに基づいて適正な財産管理を行ってまいります。

また、一般会計予算の歳入の47%を占め、本市の基幹財源である市税の適正かつ公平な賦課・徴収に努めてまいります。

皆様の貴重な税金をより効果的に活用して、市民の暮らしと健康を守り、持続可能なまちづくりを推進することができるよう、その基礎となる予算と財産を適切に管理するため、財務部職員一丸となって職務を遂行してまいります。

■ 担当する主な総合政策指針分野別指針

- | |
|-----------------------|
| (2) 暮らしを守る強靱な都市づくり |
| (10) スマートでスリムな行政運営の確立 |

■ 所管する主な個別計画

行財政改革大綱 公共施設等総合管理計画

■ 構成

財政課 行政経営課 市民税課 資産税課 納税課

■ 今年度組織重点目標

目標項目	目標達成基準
当初予算・補正予算の編成	当初予算・補正予算議案の作成 当初予算・補正予算説明書の作成 当初予算発表資料の作成
行財政改革大綱・行財政改革推進計画の中間見直し	行財政改革大綱・行財政改革推進計画の中間見直しの完了
標準準拠システムの開発及び税総合システムへの移行	標準準拠システムの開発 税総合システムへの移行の完了
令和9年度固定資産税評価替えの準備 (用途地区、状況類似地区、標準宅地の設定)	令和9年度の固定資産税評価替えに向けて、用途地区、状況類似地区、標準宅地の設定
滞納システムの標準準拠システムの開発作業及び移行	標準準拠システムの開発 滞納管理システムへの移行の完了

総務部



部長 出 徹也

総務部の所管する事務は、情報公開、選挙、庁舎管理、人事管理、職員研修、入札、契約、情報システムの適正管理などが主なもので、市全体の事務に関わり多岐にわたっています。

情報公開制度、職員の採用、契約事務、情報システムの運用管理などについて、社会生活の中で疑問に感じられることやご提言などがありましたら、お気軽に総務部の各担当へご相談ください。

市を取り巻く社会経済情勢の変化に応じて、市民の皆様のご意見を拝聴させていただきながら、ニーズや期待に応えられるよう、行政情報の開示、人事管理の適正化、入札・契約制度の改善、情報セキュリティ対策などの諸事項について継続して積極的に取り組んでまいります。

■ 担当する主な総合政策指針分野別指針

(10) スマートでスリムな行政運営の確立

■ 所管する主な個別計画

定員適正化計画 特定事業主行動計画

■ 構成

総務文書課 庁舎車両管理課 人事課 契約課 情報システム課

■ 今年度組織重点目標

目標項目	目標達成基準
参議院議員通常選挙の適正執行	選挙関連業務の確認、計画に沿った適正執行及び事後の報告書等の適正な作成
本庁舎設備の更新計画の作成	本庁舎設備更新計画（案）の作成完了
第7次定員適正化計画及び技能業務職員定員適正化計画の策定	計画の策定と公表ができています。
電子契約の導入検討	導入スケジュール、範囲を検討し、契約方法の検討、導入検討資料を作成のうえ、方針決定ができています。
標準準拠システムへの移行管理の実施	事前検証により構築した移行管理手順により、標準準拠システムへの移行が完了している。

市民安全部



部長 豊田 康介

市民安全部は総合計画に掲げられた「暮らしを守る強靱な都市づくり」と「多様な主体が協働・活躍できる社会づくり」の実現に向けて、所管する市民協働、防犯、交通安全対策、戸籍や住民基本台帳等に関する業務のほか、防災に関する取組を担っています。

市民協働では、次期市民協働推進計画策定にあたり、市民活動活性化施策を検討するとともに、地域全体で担い手不足等の課題を共有し、持続可能な市民自治に向けた体制づくりを進めます。

防犯では、地域とともに犯罪の発生抑制を図り、交通安全対策では、子ども・高齢者など歩行者を保護し、交通事故削減に向けた施策を展開します。

市民課・支所では、戸籍・住民基本台帳に関する届出、証明の発行などの手続きの利便性の向上に努めます。

これらの施策に対し、部一丸となって取り組み、安全・安心で住みよいまちづくりを目指します。

市民安全部(防災担当)



部長 小林 也寸志

近年、南海トラフ地震や風水害のリスクが高まる中、防災担当の主な役割は、事前の備えと災害発生時の迅速な対応を通じて被害を最小限に抑え、市民の生活を守ることです。

これには「自助・共助・公助」に基づく減災体制の確立が不可欠です。「自助・共助」としては、防災訓練や啓発活動を通じて地域住民の防災知識を深め、互いに助け合う環境を築くことに努めます。「公助」としては、目標管理型災害対策本部の構築による庁内連携、受援体制の整備、災害ケースマネジメントの運用、風水害対策の強化を推進し、各部門が一体となって防災活動に取り組むための体制構築を図ります。

また、行政、NPO、ボランティア、企業等との連携を強化し、地域社会全体で災害に強い体制を構築することで、災害に対する備えを一層強化します。

■ 担当する主な総合政策指針分野別指針

- | |
|---|
| (2) 暮らしを守る強靱な都市づくり
(4) 多様な主体が協働・活躍できる社会づくり |
|---|

■ 所管する主な個別計画

市民協働推進計画	防犯活動行動計画	交通安全計画	国民保護計画	地域防災計画
地震対策アクションプラン	受援計画	業務継続計画	地域強靱化計画	

■ 構成

市民協働推進課	防犯交通安全課	消費生活センター	防災課	市民課	岡崎支所
大平支所	東部支所	岩津支所	矢作支所	六ツ美支所	額田支所

■ 今年度組織重点目標

目標項目	目標達成基準
第4期市民協働推進計画の策定	第4期市民協働推進計画が策定されている。
防犯灯電灯料補助金交付事務の適正執行	補助金交付事務が適正に執行されている。
矢作川避難計画の課題に対する対策	矢作川氾濫を想定した訓練計画が作成されている。
戸籍、住民票への氏名の振り仮名記載対応	施行日以降通知を発送し、振り仮名記載に関する事務が滞りなく行えている。
マイナンバーカード処理業務の確実な実施	マイナンバーカードの処理手続きに関するスキルアップと初任者の即戦力化が図られる。

社会文化部



部長 山田 能正

社会文化部では、文化芸術・スポーツ・多様性社会・生涯学習の分野を担当しています。文化芸術分野では、昨年好評の「岡崎歌舞伎」を市民の手で演じていく取り組みをスタートさせ、文化芸術の継承につなげます。スポーツ分野では、2026年の「アジア・アジアパラ競技大会」に向けた準備を進め、スポーツを契機とした活気あるまちづくりを推進します。

多様性の分野では、設立40周年を迎える岡崎市国際交流協会とともに、外国人市民の地域における交流支援や、ウィズ認証制度により、多様な働き方を推進する市内事業者の更なる取り組みを支援し、地域活性化につなげます。

生涯学習分野では、図書館交流プラザと市民センターを拠点に学びの機会を提供し、市民が生涯活躍できる社会を目指します。美術博物館では、第2期改修工事を実施しており、令和8年夏頃再開の予定です。開館40周年を迎える地域文化広場では、今年秋に全天候型の遊びスペースである大屋根が新たに誕生します。

■ 担当する主な総合政策指針分野別指針

- (4) 多様な主体が協働・活躍できる社会づくり
- (6) 女性や子どもがいきいきと輝ける社会づくり
- (7) 誰もが学び活躍できる社会づくり

■ 所管する主な個別計画

文化振興推進計画 スポーツ推進計画 スポーツ施設配置整備計画 男女共同参画基本計画
多文化共生推進基本計画 生涯学習推進計画 子ども読書活動推進計画

■ 構成

文化振興課 スポーツ振興課 体育館 多様性社会推進課 生涯学習課
市民センター 中央図書館 額田図書館 美術博物館 地域文化広場 美術館

■ 今年度組織重点目標

目標項目	目標達成基準
市民の手による「岡崎市民歌舞伎プロジェクト」の継続事業化	市民に歌舞伎をもっと知ってもらうとともに、令和8年度の市民歌舞伎公演に向け、市民参加者が継続的に稽古をしている。
アジア・アジアパラ競技大会の気運醸成のため、バレーボール、アーチェリーの大規模大会を活用した地域連携事業を実施する。	事業者との連携事業を5回以上、次世代アスリートとの国際交流事業を2回以上実施する。
岡崎市体育館管理棟1階スペースの有効活用	岡崎市体育館管理棟1階スペースの有効活用方法を検討し、広く一般募集した中からより有効に活用できる者を選定し、活用を開始する。
多様な働き方推進事業者認証制度（ウィズ認証）の運用と申請促進	市内事業者30社以上を認証し、認証事業者との事業を実施している。
りぶらジャズオーケストラ Jr.岡崎 Beanzz の演奏活動に対し子供たちの興味、関心の拡大と団員の増加	市内の子どもたちが Beanzz の演奏をとおしてジャズの興味、関心が拡がり、Beanzz に加入する子どもが増えている。

デジタル技術を活用した読書環境の充実	デジタルマガジン導入、運用、評価（図書館システム書誌データ適正化） 学術電子図書館 KinoDen(愛知県民電子書籍サービス)利活用に係る普及啓発活動
収蔵品管理システムの更新	①落札業者の決定 ②システム更新作業の完了 ③新システムの運用
全天候型大屋根及び野外ステージの整備	全天候型大屋根の工事とともに、市内の大学にステージデザインの協力をいただき野外ステージの整備を実施し、利用を開始する。
岡崎に縁のある作家の収蔵品の活用と PR	①岡崎に縁のある作家の収蔵品を展示する（アジア大会フレンドシップ事業含） ②展示の入れ替えを行う ③市民への PR を行う

福祉部



部長 青山 潤子

福祉部は、誰もが生きがいや役割を持って活躍できる地域共生社会の実現を目指しています。

新設した福祉政策課を中心に、災害関連業務のような組織横断型の取組を強化します。

岡崎市地域福祉計画に基づき、引き続き福祉総合相談体制の充実を図るほか、市民後見人の養成など権利擁護の推進、官民連携による孤独・孤立対策、高齢者センター岡崎及び地域福祉センターにおける多世代交流や地域のつながりを推進します。

高齢者福祉施策では、保健事業と介護予防の一体的な実施事業の新たなハイリスクアプローチとして、薬剤適正化事業を開始します。

その他、国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険、生活保護等各制度の円滑な運営に努め、市民の皆様が住み慣れた地域で安心して心豊かに暮らし続けられるための施策に取り組んでまいります。

■ 担当する主な総合政策指針分野別指針

(5) 健康で生きがいをもって活躍できる社会づくり

■ 所管する主な個別計画

地域福祉計画 障がい者基本計画 障がい福祉計画 障がい児福祉計画
地域包括ケア計画 国民健康保険保健事業実施計画（データヘルス計画）
特定健康診査等実施計画

■ 構成

福祉政策課 ふくし相談課 生活福祉課 障がい福祉課 長寿課 介護保険課
国保年金課 医療助成室

■ 今年度組織重点目標

目標項目	目標達成基準
令和7年12月1日の民生委員児童委員の一斉改選の実施	民生委員児童委員の新しい委員に委嘱ができています。
在宅医療・介護連携による災害時の支援体制の整備	要介護者等の災害時の支援について介護サービス事業者連絡協議会と協定を締結できている。
生活保護医療扶助のオンライン資格確認における特定健診データの連携	連携が完了している。
就労選択支援サービス開始に向けた対応	業務の手順が整理され、事業者への周知ができています。
高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業の新たなハイリスクアプローチ「薬剤適正化事業」を薬剤師会等と協力し実施	薬剤適正化に関わる家庭訪問希望者全件に薬剤師会と連携し訪問を実施する。
ショートステイ26床の特別養護老人ホームへの転換	ショートステイからの転換により特別養護老人ホーム26床が確保されている。
国民健康保険料の口座振替の推進	口座振替率67.5%以上
後期高齢者医療資格確認書の年次更新	資格確認書等の交付、被保険者への正しい案内ができています。

保健部



部長 加藤 健一郎

保健部は行政組織上、地域保健法に基づく保健所を兼ねており、組織は岡崎げんき館内の保健政策課、生活衛生課、ワクチン接種推進室及び健康増進課の4課室並びに東公園内の動物総合センターで構成しています。

健康で生きがいをもって活躍できる社会づくりの実現に向けて、地域医療及び救急医療体制に関係する機関との連携を図るとともに、大規模災害時に円滑な医療救護活動を提供するための体制の強化に取り組んでいます。

健康おかざき21計画（第3次）の基本目標である健康寿命の延伸と健康格差の縮小を目指し、各世代に応じた健康づくりに関する正しい知識を広く啓発します。また、健康づくりへの関心が低い人も自然と健康づくりに取り組めるような環境づくりを推進します。

動物総合センターでは、動物行政推進計画の改訂を進め、動物との多様なかかわりを通じて、生きがいのある生活の基盤となる人と動物が共生したより良い社会を目指してまいります。

■ 担当する主な総合政策指針分野別指針

(5) 健康で生きがいをもって活躍できる社会づくり

■ 所管する主な個別計画

健康おかざき21計画 食育推進計画
新型インフルエンザ等対策行動計画 業務継続計画（新型インフルエンザ等対策編）
感染症予防計画 自殺対策計画 動物行政推進計画

■ 構成

保健政策課 生活衛生課 ワクチン接種推進室 健康増進課 動物総合センター

■ 今年度組織重点目標

目標項目	目標達成基準
回復期病床の確保に向けた民間病院との協議・指導	回復期病床の確保までのスケジュールを医療圏関係者と共有する。
救急医療体制の最適化に向けた関係機関との協議	新たな救急医療体制実施までのスケジュールを医療圏関係者と共有する。
BSL3対応実験室を有する県内自治体との連携強化	県内中核市と試験検査に関する連携協定を締結し連携体制を構築する。
国の助成廃止を反映した新型コロナ予防接種の新たな実施体制の構築	国の助成廃止を反映した新型コロナ予防接種の新たな実施体制への移行を計画どおり完了する。
がん検診受診啓発の拡充	新たに動画による啓発及び市内大型行事等での啓発を企画・実施する。
後期動物行政推進計画の策定	後期計画を公表する。
国主導によるシステム標準化、岡崎市ホームページリニューアルへの対応ほか	国主導によるシステム標準化及び岡崎市ホームページリニューアルへの対応などを計画どおり完了する。

保健部(保健所)



所長 片岡 博喜

保健所は、乳幼児健診などの各種健診、予防接種、食品・環境衛生の向上対策など、幅広い分野で業務を行っています。

食品衛生では、科学的根拠に基づいたHACCPに沿った衛生管理の普及を進め、食中毒防止に努めます。環境衛生では、薬物乱用の根絶を目指し、若者を中心に、その危険性に関する知識の普及啓発を継続します。

また、感染症対策では、「感染症予防計画」に基づき、新たな感染症に対応するため、人材育成や関係機関との連携等、体制強化に努めるとともに、新型コロナでの課題等を踏まえ、「新型インフルエンザ等対策行動計画」の改定を進めます。

さらに、県の医療計画に沿って、医療体制の整備を推進するほか、2040年を目指した新たな地域医療構想について、国・県等の方針を踏まえ、関係機関と検討を行ってまいります。

これからも、市民の健康を守り、安心して暮らせるよう、関係機関と連携し、実りある保健事業の展開を図ってまいります。

■ 今年度組織重点目標

目標項目	目標達成基準
医療体制確保のための医務指導の適正な実施	指導マニュアル更新及びホームページリニューアルに合わせた開設者向け情報の掲載
令和8年7月改定に向けた新型インフルエンザ等対策行動計画の改定検討	新型インフルエンザ等対策行動計画素案の作成
国の方針に基づく带状疱疹予防接種の定期接種化	任意接種から定期接種への移行を計画どおり完了する。
精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築推進（地域生活支援事業費補助金の活用）	精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進のための自治体情報シートの更新及びホームページでの公表

こども部



部長 堤谷 文雄

こども部では、全てのこどもたちが夢や希望を持つことができるよう、こどもまんなか社会の実現をめざして各種こども施策に取り組んでいます。

「おかざきっ子 育ちプラン（岡崎市こども計画）」に基づき、妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援、ひとり親家庭や発達に心配のあるお子様に関する支援の充実とともに、児童虐待の未然防止に努めます。また、多様化するライフスタイルに対応するため、保育環境の充実や放課後のこどもの安全・安心な居場所の確保を図ってまいります。

こどもや子育て当事者の視点を尊重し、本市の実情に即した諸施策をこども部職員一丸となって進めてまいります。

■ 担当する主な総合政策指針分野別指針

- (4) 多様な主体が協働・活躍できる社会づくり
- (5) 健康で生きがいをもって活躍できる社会づくり
- (6) 女性や子どもがいきいきと輝ける社会づくり

■ 所管する主な個別計画

おかざきっ子 育ちプラン 配偶者からの暴力防止及び被害者支援基本計画 母子保健計画

■ 構成

こども育成課 子育て支援室 保育課 総合子育て支援センター 保育園 こども園
こども家庭センター こども発達相談センター

■ 今年度組織重点目標

目標項目	目標達成基準
児童育成センター運営業務の充実及び次期委託事業者の選定	令和7年12月末までに事業者を選定及び決定し、議会の承認を得た後、委託契約を締結している。
児童手当の適正な支給	支給対象者に適正に支給する。
合同ケース会議の運用方法の確立	合同ケース会議が適宜開催できた。
こども誰でも通園制度の開始に向けた対応	条例制定、運用構築により令和8年4月から運用開始の準備が完了している。
早期発達支援システムの効果的な運用	評価結果に応じ次年度の指標や事業内容に見直しを反映させる。

環境部



部長 加藤 元

環境部は、自然保護、公害防止、気候変動対策、廃棄物の適正処理、ごみの減量・資源化等に関する施策を展開し、持続可能な社会の実現を目指します。

自然保護では、本市の豊かな自然環境・生物多様性を着実に保全し、ネイチャーポジティブ達成を目指します。

公害防止では、正確な環境調査に基づいた的確な対策を実施し、良好な生活環境を維持します。

気候変動対策では、再生可能エネルギー普及拡大や省エネ推進、市の事務事業に係る脱炭素化など、2050年ゼロカーボンシティ実現に向けた取組を推進します。

さらに、廃棄物の適正処理やポイ捨て・アスベスト・生活排水への各種対策に取組むほか、ごみの減量・資源化等に関しては、令和12年度からの広域ごみ処理開始に向け、資源物の有効活用に注力するとともに、ごみ処理施設を適切に維持管理・延命化します。

これらの施策を環境部一丸で推進し、市民・事業者の皆様とともに「環境共生都市 岡崎」の実現を目指します。

■ 担当する主な総合政策指針分野別指針

- (2)暮らしを守る強靱な都市づくり
- (3)持続可能な循環型の都市づくり

■ 所管する主な個別計画

環境基本計画 生物多様性おかげさ戦略 地球温暖化対策実行計画 水循環総合計画
一般廃棄物処理基本計画 災害廃棄物処理計画 岡崎西尾地域ごみ処理広域化計画

■ 構成

環境保全課 ゼロカーボンシティ推進課 廃棄物対策課 ごみ対策課 清掃施設課
総合検査センター

■ 今年度組織重点目標

目標項目	目標達成基準
公害関係施設のリスク確認	優先度が高いと判断した10事業場への立入検査の実施及び次年度の計画立案
本市事務事業における脱炭素化の推進	岡崎市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の改訂
廃棄物処理業者登録管理システムの再構築	廃棄物処理業者登録管理システムの移行方針決定
資源物排出環境の整理	無人回収拠点の新規設置のほか、回収拠点の増設や統廃合の方針作成
安全・安定的なごみ処理施設の稼働	中央クリーンセンターごみ処理施設長寿命化総合計画の策定
有害化学物質に対する適切な検査対応	PFOS・PFOAの検査方法策定

経済振興部



部長 畔柳 久司

経済振興部は、商工労政課、観光推進課、農務課、農地整備課、中山間政策課から構成され、本市の経済基盤を支える幅広い産業の振興と、恵まれた観光資源を活用した内外からの誘客について、各課連携して取り組んでいます。

商業・サービス業では、各種支援策の実施による地域経済の活性化を、工業では、積極的な企業誘致と多様な企業等による共創・交流への推進を、観光では、「家康公生誕の地」という強みを活かした歴史観光と若者の流入促進を両輪に、新たに今秋開業予定の「(仮称)三井アウトレットパーク岡崎」への来訪者を市内周遊に繋げ、滞在時間の延伸やリピーターの獲得により、観光消費を促していきます。農業では、アグリパーク構想、有機農業産地づくり、地産地消の農業やスマート農業の推進を、農地では、生産性の向上と多面的機能の維持に取り組んでまいります。

経済振興部(技術担当)



部長 浅井 隆

本市の経済基盤を支える産業振興の一環として、恵まれた資源を活用した農業と林業の振興に取り組んでいます。

農業では、優良農地の確保や生産性の向上を目指す基盤整備の推進や農業の有する多面的機能の発揮の促進を図るとともに、農業用施設の適切な機能保全に努めます。

林業では、林道の整備や維持管理を通じて林業の振興を図るとともに、治山事業の適切な調整を行い、森林の保全を推進します。

中山間地域においては、「めぐみ・うるおい・やすらぎが共生する岡崎らしい森林」を目指し、森林資源を活用した森林サービス産業の推進に取り組んでいます。また、川上、川中、川下の公民連携による経済活動を通じて、中山間地域の魅力創出を進めていきます。

今後も各地域の魅力が引き出せるよう、計画的な土地利用を図り、産業振興を推進していきます。

■ 担当する主な総合政策指針分野別指針

- (3) 持続可能な循環型の都市づくり
- (8) 商業と観光が成長産業となる地域経済づくり
- (9) ものづくりが柱でありつづける地域経済づくり

■ 所管する主な個別計画

森林整備ビジョン 森林整備計画 農業振興ビジョン2030 山村振興計画
中山間地域活性化計画 産業労働計画 観光基本計画

■ 構成

商工労政課 観光推進課 農務課 農地整備課 中山間政策課

■ 今年度組織重点目標

目標項目	目標達成基準
ふるさと納税（おかげさ応援寄附金）寄附額増加のための取組推進	寄附額増加に向けた戦略の策定とその実践
桑谷キャンプ場の民間活用を図る	優先交渉権者の選定及び民間運用の開始
スマート農業の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・RTK-GNSSの全市域網羅 ・農業支援センターにおける通信電波基地局整備とそのモデル活用の開始
特別徴収金に関する条例の制定	条例の制定
森林由来のJークレジット活用の推進	認証・発行された森林由来のJークレジットの活用方針の策定

土木建設部



部長 神谷 秀樹

土木建設部では、市が管理する道路や河川の維持管理、新設・改良のほか、公共用地の取得や調査などを行っています。

道路部門では、地域経済を支える広域的な幹線道路に係る国・県事業の整備促進に向けた活動のほか、安心して安全な市民生活と機能的な都市活動を確保するため、都市計画道路を始めとする主要な道路の整備、渋滞対策、バリアフリー化及び無電柱化を進め、快適な移動社会の実現を目指します。

また、老朽化が進行する道路や橋りょうなどについては、適切な点検管理を行い、予防保全型長寿命化対策の推進に努めます。

河川部門では、気候変動の影響による水災害が激化する中において、浸水被害を軽減するため、国・県管理河川の整備促進に向けた活動のほか、流域治水を踏まえた総合的な雨水対策の強化を目指します。

これからも、誰もが安心して暮らせる、魅力あるまちとなるように、社会基盤の強靱化に取り組んでまいります。

■ 担当する主な総合政策指針分野別指針

- | |
|--------------------|
| (1) 暮らしを支える都市づくり |
| (2) 暮らしを守る強靱な都市づくり |

■ 所管する主な個別計画

自転車活用推進計画 自転車ネットワーク計画 総合雨水対策計画

■ 構成

建設企画課 土木管理課 道路維持課 道路建設課 河川課

■ 今年度組織重点目標

目標項目	目標達成基準
建設現場の遠隔臨場の推進	建設現場の遠隔臨場の課題抽出と効果検証の完了
占用申請のオンライン化の拡充	オンライン申請の本番環境の完成
道路点検結果のデータ化	道路パトロール計画（額田地区）の完成
将来の統合廃止を意識した橋りょう長寿命化修繕計画への更新	令和8年度から推進する橋りょう長寿命化修繕計画の策定
雨水浸透の強化	観測孔2箇所の結果確認

都市政策部



部長 松澤 耕

都市政策部では「岡崎市都市計画マスタープラン」「岡崎市景観計画」「住生活基本計画」等に示した都市の将来像の実現に向け、「自然・歴史・文化を礎に新たなくらしと活力を創造する風格ある都市 岡崎」を目標に掲げ、市民の皆様が誇りをもって末永く住み続けられるよう各施策に取り組んでいます。

所管する事務は、

- ・土地利用に関する総合的な調整のほか、都市計画における区域区分や地域地区の指定及び街路等の都市施設の決定

- ・建築や開発、盛土行為に対する指導を適正に行い、安全安心で人にやさしく、低炭素で持続可能なまちづくりの推進

- ・「QURUWA戦略」による乙川の「かわまちづくり」をはじめとした公共空間の活用促進と、これらにあわせた積極的な民間投資の誘導。また、本市の多様な歴史文化資産を活かした「歴史まちづくり」と、地域特性を活かし誇りと愛着を育む「景観まちづくり」の推進

- ・住宅セーフティネット制度の取組のほか、災害に強いまちづくりを目指し「住宅の耐震化」「ブロック塀等の安全対策」「空き家対策」「狭あい道路拡幅整備」の促進など多岐にわたっています。

まちづくりは市民の皆様の協力を得て、規律を持って適正に進めることで成しえます。いずれも市民生活に直接かわるものですが、特に「QURUWA戦略」「かわまちづくり」「歴史まちづくり」は、公民連携の手法を交えて一体的に取り組んでいくことで、誰もが、訪れたい、住んでみたいと思う魅力にあふれたまちを創ってまいります。

■ 担当する主な総合政策指針分野別指針

- | |
|--------------------|
| (1) 暮らしを支える都市づくり |
| (2) 暮らしを守る強靱な都市づくり |

■ 所管する主な個別計画

都市計画マスタープラン 立地適正化計画 土地利用基本計画 駐車場整備計画 都市拠点基本計画 乙川リバーフロント地区公民連携まちづくり基本計画 市街化調整区域及び都市計画区域外における土地利用に関する基本方針 景観計画 屋外広告物適正化計画 歴史的風致維持向上計画 無電柱化推進計画 空家等対策計画 防災都市づくり計画 建築物耐震改修促進計画 住生活基本計画 住宅確保要配慮者に対する賃貸住宅供給促進計画 マンション管理適正化推進計画
--

■ 構成

都市計画課 建築指導課 まちづくり推進課 住環境政策課

■ 今年度組織重点目標

目標項目	目標達成基準
都市計画マスタープランの中間見直し	都市計画マスタープランの改定
大規模盛土造成地の第二次スクリーニングに着手し、今後の対応方針の検討	大規模盛土造成地の第二次スクリーニング1箇所実施と今後の対応方針案の作成
歴史的風致維持向上計画（第2期）の策定	歴史的風致維持向上計画（第2期）の認定
建築物耐震改修促進計画の中間見直し	建築物耐震改修促進計画の中間見直しの公表

都市基盤部



部長 根本 健一

都市基盤部では、暮らしの質の向上を目指し、駅周辺や公園等のまちづくりをはじめ、公共建築物や市営住宅の整備等に取り組んでいます。

- ・東岡崎駅の第2期整備を名鉄と連携して推進し、南北自由通路、橋上駅舎、駅ビル、バスターミナルを一体的に整備します。

- ・岡崎駅利用者の利便性向上のために、西口駅前広場へのシェルター（屋根）及びベンチなどの設置を進めます。また、本宿駅周辺では（仮称）三井アウトレットパーク岡崎に隣接する土地区画整理事業の支援や、新たな東の玄関口として交通広場の整備を推進します。

- ・家族レクリエーション型の代表的な施設である南公園の再整備、アジア・アジアパラ競技大会に向けた岡崎中央総合公園の施設改修を進めます。また、公園を快適で楽しい場とするため公民連携を推進します。

- ・公共建築物の安全安心で機能的な施設整備とともに計画的な長寿命化を推進します。

- ・住宅に困っており、比較的収入の少ないかたに安い家賃で住んでいただく市営住宅を提供するとともに、老朽化した施設の建替事業や改修事業を推進します。

■ 担当する主な総合政策指針分野別指針

- | |
|--------------------|
| (1) 暮らしを支える都市づくり |
| (2) 暮らしを守る強靱な都市づくり |

■ 所管する主な個別計画

緑の基本計画

■ 構成

拠点整備課 市街地整備課 公園緑地課 建築課 市営住宅課

■ 今年度組織重点目標

目標項目	目標達成基準
東岡崎駅北口地区第一種市街地再開発事業との連携及び交通施設整備事業（第2期分）に関する工事の推進	令和7年度予定分の既存施設解体及び杭基礎工事の完了
本宿駅交通広場の都市計画決定	本宿駅交通広場の都市計画決定の告示
南公園整備事業の適正な進捗管理	令和7年度予定分の工事（西・南駐車場及び屋内遊戯施設などの地盤改良（柱状改良））の完了
中央総合公園野球場改修工事の円滑な遂行	工事の完了
大樹寺荘整備事業の円滑な遂行	大樹寺荘整備事業第1工区の完成及び入居移転事務の完了

市民病院



事務局長 中根 敏裕

岡崎市民病院は地域の中核基幹病院として、高度急性期医療、救急医療、がん医療を主軸に、周産期・小児医療など地域の医療ニーズに応え、信頼され、期待され「選ばれる病院」となるよう一層努めてまいります。

今年度は、手術支援ロボットを増設して手術の待機期間短縮と件数増加を図るなど、最新医療機器の導入により高度な医療を提供できる病院として信頼に応えられるよう努めてまいります。

施設整備では、エレベーターや照明設備などの更新工事を引き続き進めるほか、病棟の外壁改修工事を実施いたします。また、結核感染症病棟の整備についても令和9年度の完成に向けて進めてまいります。

経営面では、地域の医療機関との連携強化に取り組み、紹介患者や予定入院患者を増やして収益を確保し、経営の効率化、医療スタッフの確保、働き方改革など、経営強化プランにある課題に取り組むことで、病院経営が安定して持続できる体制を整えてまいります。

■ 担当する主な総合政策指針分野別指針

(5) 健康で生きがいをもって活躍できる社会づくり

■ 所管する主な個別計画

病院事業経営強化プラン

■ 構成

総務課 施設課 医事課 経営企画室 総合研修センター 医療情報室
 医療安全推進センター 地域医療連携室 患者サポートセンター
 額田宮崎診療所 額田北部診療所 こども発達医療センター 看護専門学校

■ 今年度組織重点目標

目標項目	目標達成基準
看護師の業務改善の推進	短期的な施策の実施、中長期的な施策の策定
結核感染症病棟基本修正設計及び実施設計業務の実施	結核感染症病棟基本修正設計及び実施設計業務の完了
適切な医療費算定運用の推進	各診療科カンファレンスでの情報発信 診療科カンファレンス 20 診療科以上
岡崎市病院事業経営強化プランの推進	モニタリング表による進捗管理を実施する。
職員の医療安全及び感染制御意識の向上	院内全職員を対象とした医療安全意識及び感染制御意識の向上を高めることを目的とした研修会が、それぞれ年2回開催されている。 (対面又はeラーニング形式で)
次期統合情報システム群の更新プロジェクトの構築開始	部門間調整を終え、統合情報システム群の次期事業者が決定し、構築が開始できている。
西三河南部東医療圏内への看護師供給	西三河南部東医療圏内の病院を第一希望で出願予定とする学生の割合を、2 年期末時点で 65%以上とする。

会計管理者



管理者 鈴木 智子

会計管理者は、市の会計事務の適正な執行を確保するための内部牽制の仕組みとして、地方自治法に設置が定められている職です。

会計管理者の事務を補助する組織として設置されている会計課では、公金の出納・保管及び収支管理、公金の支払いに関する審査、毎会計年度の決算の調製などの会計事務を確実に遂行するとともに、安全かつ有利な資金運用に努めております。

行政運営を支える大切な公金をお預かりする者として、常に責任感と緊張感を持って、適正かつ効率的な会計事務の執行に日々取り組んでまいります。

■ 担当する主な総合政策指針分野別指針

(10) スマートでスリムな行政運営の確立

■ 所管する主な個別計画

—

■ 構成

会計課

■ 今年度組織重点目標

目標項目	目標達成基準
適正な会計事務	・ 支払日計の誤り 0件 ・ 収入の消込処理誤り 0件 ・ 誤送金等振込事故 0件
法令等に基づいた的確な支払審査と支払期限内の確実な支払い	支払遅延防止法違反書類 0件
基幹業務システムの標準化に対応するための総合収納システムの改修	基幹業務システムの標準化後も、引き続き総合収納システムでの収納データの処理が滞りなくできている。
公金の適正な管理と安全かつ有利な運用	安全性及び流動性を確保した上で予算計上した利子収入が得られている。

消防本部



消防長 稲垣 和人

消防本部では、火災や救急、救助など、あらゆる災害を想定し、迅速かつ的確に対応できるよう消防体制の充実・強化に日々取り組んでおります。

なお、昨今の消防を取り巻く環境としまして、本市における救急隊の出場件数が3年連続で過去最多を更新し続け、今後も増加が見込まれる状況にありますが、熱中症の多い夏場など救急需要の多くなる時期は出動体制を拡充するなど柔軟に対応してまいります。

このほか、被害を未然に防ぐための予防広報や、消防をより身近に感じていただく出初観閲式を始めとする啓発イベントを開催し消防・防災に関する意識の高揚を図るとともに、消防団を中核とした地域防災力の向上を推進し、この地域で発生が危惧されている南海トラフ地震や、近年全国で多発している風水害などの自然災害などから、市民の生命・身体・財産を全力で守り、住んでいる人が楽しく快適に、安心して安全に暮らせるよう尽力してまいります。

■ 担当する主な総合政策指針分野別指針

(2) 暮らしを守る強靱な都市づくり

■ 所管する主な個別計画

—

■ 構成

総務課 予防課 消防救急課 共同通信課 中消防署本署 北分署 花園出張所
東消防署本署 南分署 青野出張所 額田出張所 本宿出張所 形埜出張所
西消防署本署

■ 今年度組織重点目標

目標項目	目標達成基準
岡崎幸田消防指令センター総合整備事業の推進	整備に向けたシステムの設計がなされ、整備の準備を進めている。
機能別団員制度の拡充	消防団規則などを改正
消防署員の危険物に関する知識向上	市内事業所の危険物保有・取扱状況と消火方法及び少量危険物施設に対する立入検査の研修動画が完成 職員に動画研修及び理解度アンケートを実施
救急業務高度化に伴う、知識・技術の向上	厚生労働省が推進する、救急救命処置「アナフィラキシーに対する自己注射が可能なアドレナリン（エピネフリン）製剤によるアドレナリンの筋肉内投与」の投与対象拡大に係る実施体制整備研究に参加できている。
効果的な消防活動と隊員マネジメントの強化	現場指揮官と各小隊長の連携強化 ウェアラブルカメラ等を活用した検証体制の構築 警防活動用資機材の導入に係る一定基準の策定
安全管理体制の充実・強化	①全職員に研修が実施され、安全文化の醸成が図られている。 ②合同訓練等が年3回以上実施され、消防活動において安全を最優先とする意識が根付いている。 ③アンケートで確認できた効果を共有し、職員全体の安全管理に対する意識が強化されている。

小隊長の指揮要領及び隊員の知識・技術の向上	災害現場において、現場活動要綱に基づいた小隊活動における検証が実施されている。 管轄署所で災害シミュレーション研修を年3回以上実施されている。
-----------------------	--

上下水道局



部長 跡地 操

上下水道局では、水道と下水道という市民生活に直結した重要なライフラインを所管しています。

能登半島地震や下水道管破損に起因する道路陥没事故等では、上下水道施設の地震対策、老朽化対策といった上下水道事業が抱える課題が浮き彫りとなりました。

水道事業では、令和5年1月に策定した水道施設更新計画に基づき、基幹管路網再構築や配水ブロック化を進め、下水道事業では、令和5年11月に策定した第3期下水道総合地震対策計画に基づき、緊急輸送道路の下水道管の耐震化を進めてまいります。また、今後増大する上下水道の老朽管については、AI等の新技術を活用し、効率的に更新してまいります。この他、汚水、雨水事業も着実に推進し、日々の事故リスク低減と災害に強い上下水道施設への再構築を進めてまいります。

上下水道の大切な資産を次世代へ引き継ぐため、10月から水道料金の値上げにより市民の皆様にはご負担をお掛けいたしますが、安全で安心な水道水の供給と快適な生活環境の確保、持続的な事業運営の実現を目指し職員一同邁進してまいります。

■ 担当する主な総合政策指針分野別指針

(1) 暮らしを支える都市づくり

■ 所管する主な個別計画

上下水道ビジョン

■ 構成

経営管理課 上下水道部総務課 上下水道部サービス課 上下水道部水道工事課
上下水道部水道浄水課 上下水道部下水道施設課 上下水道部下水道工事課

■ 今年度組織重点目標（経営管理課）

目標項目	目標達成基準
危機管理体制の構築 (訓練の実施、BCP及びマニュアルの随時見直し)	応急給水活動初動期(発災後2~3日後)を想定した訓練に基づくBCP及び各班マニュアルの見直し
下水道使用料及び農業集落排水処理施設使用料の検証	適切な使用料体系の確立に係る市の方針決定

■ 今年度組織重点目標（上下水道部）

目標項目	目標達成基準
金沢市企業局との人事交流の実施による業務スキルの向上	人事交流実施計画案の作成
小規模貯水槽水道の適正管理の啓発	小規模貯水槽水道適正管理案の作成
水供給のバックアップ機能の確保に向けた六供配水区のブロック化の推進	令和7年度分のブロック化の完了 (進捗率:68%)
降雨時の原水水質悪化時に安定した浄水処理を可能にする対策方法の検討	原水水質に応じた薬品注入率表の作成
下水道管渠の全国特別重点調査の実施 (下水道等に起因する大規模な道路陥没を未然に防止する。)	重点調査路線(約15km)の調査完了及び緊急修繕箇所の対応完了
下水道管路のリスク低減に向けてAI等先進技術を活用したストックマネジメントの業務改革の推進	下水道管路ストックマネジメント計画修正案の作成

議会事務局



事務局長 青木 善信

住民の代表機関である議会は、皆さんの代表である議員が予算・決算・条例などの市の方向性を決定づける事柄を審議し、決定する重要な責務を担っています。

地方行政のより一層の充実が求められる現在、市民の皆さんの視点に立った監視機能、調査機能の強化とともに、地域における多様なニーズを踏まえた政策形成機能の充実が求められるなど、その役割と責任はますます重要になっています。

議会事務局では、こうした議会活動を支えるとともに、議会だよりの発行、ケーブルテレビやインターネットによる議会中継、会議録や映像をホームページで公開するなど積極的な情報提供を行っています。引き続き、開かれた議会を目指し、本市の更なる発展のため、議会活動の充実・支援に努めてまいります。

■ 担当する主な総合政策指針分野別指針

(10) スマートでスリムな行政運営の確立

■ 所管する主な個別計画

—

■ 構成

総務課 議事課

■ 今年度組織重点目標

目標項目	目標達成基準
中核市議会議長会会長市としての各種会議及び要望活動の実施	中核市議会議長会会長市として各種会議や省庁要望活動の円滑な実施
議会 BCP 議会事務局職員行動マニュアルの更新及び訓練の実施	議会事務局職員行動マニュアルの更新及び訓練の実施
議会改革の推進	地方自治法改正の趣旨に則り、岡崎市議会会議規則・委員会条例が改正されている。
議会だよりの見直し	議会だよりのレイアウト変更が完了している。
議員の行政視察派遣事務手続の効率化	行政視察派遣手続の事務が効率化されている。

教育委員会事務局



部長 浅岡 克徳

教育委員会事務局は、小中学校などの教育機関の管理運営を始め、教育施設を安全かつ快適な教育環境に維持することに努めるとともに、社会教育や青少年健全育成の推進などを所管し、教育行政の一層の向上を目指しています。

所管する主な事業としまして、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に推進し、主体的・対話的な学びの一層の充実を図るため、運用開始から5年が経過する児童生徒用の1人1台タブレット型端末の段階的な更新を進めてまいります。

また、学校施設の老朽化対策として校舎の内部と外部を一体的にリニューアルする大規模改修工事を計画的に進めるほか、近年の夏場の猛暑化においても安心して授業を受けられるよう、市内20校の中学校屋内運動場・柔剣道場へ空調設備を整備してまいります。

さらに、本市の象徴である岡崎城跡の整備や、その他貴重な歴史文化資産の調査を行い、保存活用に努めてまいります。

今後も家庭や地域の皆様のご協力をいただきながら、将来の岡崎を担う「未来を拓き、豊かに生きる力をもった子どもたち」を育む取り組みをしてまいります。

■ 担当する主な総合政策指針分野別指針

(7) 誰もが学び活躍できる社会づくり

■ 所管する主な個別計画

学校教育等推進計画 文化財保存活用地域計画 小中学校施設長寿命化計画

■ 構成

教育政策課 学校給食センター 施設課 学校指導課 小学校 中学校
総合学習センター 少年自然の家 教育相談センター 社会教育課 視聴覚ライブラリー
旧本多忠次邸

■ 今年度組織重点目標

目標項目	目標達成基準
岡崎市学校教育等推進計画の策定	岡崎市学校教育等推進計画の策定及び公表
小学校6年生、中学1年生の1人1台タブレット端末の更新と令和8年度以降の更新準備	小学校6年生、中学1年生のタブレット端末の更新完了及び次年度以降の端末更新の方針策定
良質で安全な学校給食の提供	年間を通して良質で安全な学校給食の提供
岩津中学校中棟、矢作中学校中棟の大規模改修工事の円滑な遂行（R7-R8）	令和7年度分工事（3工区のうち1工区）の完了
中学校屋内運動場・柔剣道場空調設備等整備事業の円滑な遂行（R7-R8）	事業実施提案書の工程に基づく令和7年度分工事の完了
子ども・若者総合相談センター（わかサポ）の管理運営に係る業者選定	委託業者が決定し、令和8年4月契約の調整が完了している。
岡崎城跡内の龍城堀石垣の整備の推進	龍城堀石垣の積み直し及び展望スペースの整備を完了する。

教育委員会事務局(教育監)



教育監 宇都木 靖弘

学校教育に求められているものは、児童・生徒が人間として生涯にわたって心豊かで、力強く生き抜くための基盤となる能力を育成することと、知・徳・体の調和のとれた感性豊かな人間形成を図ることであると考えています。

各学校においては、基礎的、基本的な内容を重視し、個に応じた指導を充実する中で、公共の精神を尊び、児童・生徒の個性を伸ばす教育を展開することが大切です。そのために、学校や地域の実態に応じて、創意工夫を生かした特色ある教育課程を編成して、子供が自他を敬愛し、喜んで通うことのできる、安全で魅力ある学校づくりを目指します。特に、次の3点を重点としています。

- ・学ぶ楽しさを実感し、深く考え、学び続けるための「確かな学力」を育む教育の推進
- ・命の尊さやふるさとの大切さを自覚し、共に生きるための「豊かな心」を育む教育の推進
- ・体を動かす楽しさを体感し、たくましく生きるための「健やかな体」を育む教育の推進

■ 今年度組織重点目標

目標項目	目標達成基準
<ul style="list-style-type: none"> ・「粘り強く課題の解決に取り組む力」を育む教育の推進 ・「確かな知性」を育む教育の推進 ・「豊かな感性」を育む教育の推進 ・「健やかな体」を育む教育の推進 	<ol style="list-style-type: none"> ①市委嘱研究校による研究実践 ②チーム学習の研究 ③指導員による授業改善への指導 ④小学校32人学級の実施 ⑤「いのち」の教育の推進 ⑥未来型業の研究 ⑦ICT 機器の有効活用 ⑧プログラミング学習の充実
<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の指導性・専門性・人間性の向上 ・教職員の働き方の検討、改善策等の提案 	<ol style="list-style-type: none"> ①教職経験年数に応じた研修の開催 ②コンプライアンス意識や働き方意識を向上させる講義等、時代の要請に応じた内容の研修 ③各学校が研修履歴の記録や受講奨励を実施できるようにするための環境整備
<ul style="list-style-type: none"> ・教育支援体制の充実 ・いじめ長期欠席対策の推進 ・特別支援教育の推進 ・外国人児童生徒等教育の推進 ・多様な教育ニーズへの対応の強化 	<ol style="list-style-type: none"> ①校内フリースクール（F組・S組）の拡充とその理念の浸透 ②スクールソーシャルワーカー、臨床心理士、登校支援員等による各種相談・支援体制の充実 ③学校・家庭・地域・各関係機関との連携 ④ストップ・ザ・いじめアクションプランの推進 ⑤特別な支援を必要とする児童生徒への指導の充実 ⑥外国人児童生徒への支援の推進 ⑦的確な子ども理解と適切な支援の実施

<p>岡崎市地域ブロック部活動の移行「3段階プラン」の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①全ての中学校で地域ブロック部活動実施 ②休日に加え、平日を含めた地域ブロック部活動の実施 ③全ての地域ブロック部活動に指導員の配置 ④定期会議の開催、議事録の作成、共有 ⑤委員会の開催、進捗報告と課題解決策の提案 ⑥一部のブロック部活動における試行
-----------------------------------	--

監査委員事務局



事務局長
桑山 めぐみ

監査委員（制度）は、住民の福祉の増進と公正かつ効率的な行財政運営を実現するため、地方公共団体の事務を監査し、また、その情報を市民の皆さんに提供することにより、行政に対する判断材料を提供し、理解を深めていただくため設けられています。

貴重な税金が市民サービスの向上に向けて有効、適切に使われているかどうか、公正で合理的かつ効率的な行政が確保されているかなどをチェックする監査部門の重要性は、増してきていると考えています。

監査委員事務局におきましては、監査委員が実施する監査により市政の適法性、効率性、妥当性が保障されるよう、公正謙虚な心構えを持ち、適切に監査委員を補助してまいります。

■ 担当する主な総合政策指針分野別指針

(10) スマートでスリムな行政運営の確立

■ 所管する主な個別計画

—

■ 構成

監査係

■ 今年度組織重点目標

目標項目	目標達成基準
例月出納検査	例月の各会計現金出納検査の実施
定例監査・行政監査	7部局、8小中学校、2保育園、1こども園の監査の実施
随時監査	令和7年度に実施される工事から抽出した工事を1件以上監査の実施
財政援助団体等監査	指定管理者1団体の監査の実施
決算審査	令和6年度一般・特別会計、病院・水道・下水道事業会計及び岡崎市額田郡模範造林組合解散に伴う決算審査の実施
基金運用審査	令和6年度基金定額運用の審査の実施
健全化判断比率等審査	健全化判断比率等の審査の実施

農業委員会事務局



事務局長 畔柳 久司

農業委員会では、農地行政機関として農地法などに関する事務や農業の振興を所管しています。あわせて、農業者の代表機関として農業関係者のご意見を伺い、農業施策に反映されるよう関係機関へ提案しています。

これらの事務を適正に進めるために、農業委員会サポートシステムを活用し、農地の情報を管理・公表するとともに、各種手続きの迅速化に努めています。

また、優良農地の確保・保全、農地の違反転用・遊休農地の発生防止、ホームページを活用した様々な情報の発信等、多岐に渡り取り組んでいます。昨年度は、将来の農地の効率的かつ総合的な利用を促進することを示す「地域計画」の策定に協力してまいりました。今後は、「地域計画」の実現とともに、農業への新規参入の促進等の農地の最適化活動の推進に努め、より一層の農業振興を図ってまいります。

■ 担当する主な総合政策指針分野別指針

(3) 持続可能な循環型の都市づくり

■ 所管する主な個別計画

農業振興計画

■ 構成

総務係

■ 今年度組織重点目標

目標項目	目標達成基準
荒廃農地の解消	非農地を確定させ、その内容に地図データを更新する。

「部の経営方針」

令和7年5月

岡 崎 市

財務部行政経営課

TEL0564-23-6502